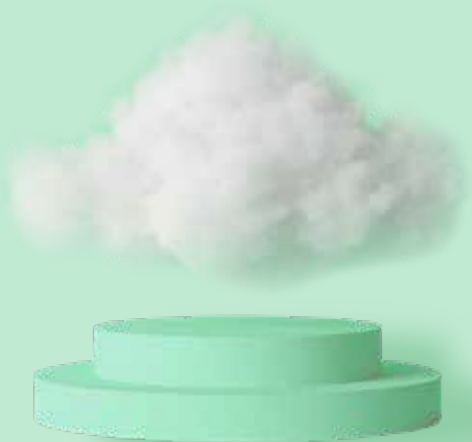


5つの理由

# ネットアップで 進化したクラウドを実現



破壊的な変革は待ったなしで起こります。人材の格差は拡大しています。そして、テクノロジー主体の変革を求める圧力はますます高まっています。そのため企業には、複雑さを排除し、コストやリスクを極限まで抑え、効率性と持続可能性を常に最適化して、クラウドの可能性を最大限に引き出せるパートナーが必要です。ネットアップは、そのすべてを熟知しています。

## 進化したクラウドへようこそ

進化した状態のクラウドでは、アーキテクチャと運用に**クラウドが完全に統合され**、データセンターとクラウドがシームレスに一体化しています。ハイブリッド マルチクラウドの運用はシンプルになり、サイロの壁は取り払われます。そして、一貫性があり、全体を可視化できる環境になります。

ネットアップは、クラウド間でアプリケーションとデータの整合性を保つことで、特定プロバイダへのロックインを解消します。混沌とした状態を脱し、即応性、柔軟性、自由さから生まれるイノベーションを促進します。

### ネットアップの手法



01

#### イノベーションを迅速に実現

一貫した基盤の上で運用しながら、新しいテクノロジーをすばやく採り入れる柔軟性が得られます。データやアプリケーションは、オンプレミスと複数のクラウド環境の間でシームレスに構築でき、移動も可能です。



02

#### ハイブリッド マルチクラウドをシンプルに運用

複数のクラウドやオンプレミス環境にわたる運用を一元化することで、複雑さを最小限に抑え、リソースが逼迫しているITチームの負担を軽減します。



03

#### あらゆる場所でサイバー レジリエンスを実現

種類の異なる環境全体で、監視、データ保護、セキュリティ、ガバナンス、コンプライアンスを統合します。自動化により、ランサムウェアなどの脅威をプロアクティブに検出し、保護します。



04

#### コストを自動で削減し、パブリック クラウドの専門家は不要

AIベースの自動化により、クラウド インフラとストレージを継続的に最適化し、コスト削減と効率化を実現します。クラウド費用の使い方に一貫性を持たせ、明確に説明できるようにします。



05

#### ITによる環境への負荷を軽減

効率性に優れ、再生可能エネルギーを利用するパブリック クラウドへデータを簡単に移行できます。業界最高レベルのツールと自動化により、エネルギー消費をモニターし、無駄を最小限に抑えることができます。

### ハイブリッド マルチクラウドの主な課題

- アーキテクチャや運用が複雑
- クラウド コストの歯止めが利かない
- セキュリティ上の脅威が絶えない
- クラウドに関するスキル格差
- 環境間の可視性が制限される
- クラウドの相互運用性がない

### 進化したクラウドを構成する主な要素

- 複数のクラウドやデータセンターの間の相互運用性と接続性
- コントロール プレーンの統合による運用の一元化
- 共通のAPI、サービス、オープン アーキテクチャ
- AIベースのパワフルな自動化

## すべてはクラウドへの愛のために

ネットアップは、企業が破壊的な変革を乗り越え、それを強力なイノベーションに変えるお手伝いをします。私たち自身、同じことを30年にわたり行ってきました。そして今、ネットアップはクラウドの次の進化を主導し、より優れたハイブリッド マルチクラウド エクスペリエンスを創造しています。**全ての人がクラウドを使えるようになるべきだからです。**



### 世界最大級のクラウド各社とのパートナーシップ

ネットアップは、クラウドが注目される前から全力を注ぎ、大手パブリック クラウド プロバイダと緊密なパートナーシップを構築してきました。AWS、Microsoft Azure、Google Cloudにネイティブに組み込まれたエンタープライズクラスのストレージ サービスをネットアップだけが提供できるのは、コミットメントとイノベーションがあるからです。

## ネットアップのポートフォリオ

- **進化したクラウドの基盤**：進化したクラウドのために構築された最強のサービス コレクション（インフラ、データ、アプリケーション）が用意されています。
- **マルチクラウド対応の設計**：ネットアップのポートフォリオはハイブリッド マルチクラウド環境向けに構築されており、統一されたエクスペリエンスを提供します。クラウドとオンプレミスのデータセンターをどのように組み合わせても、データ保護機能が標準でサポートされます。
- **ユーザ主体のアーキテクチャ**：他社とは異なり、ネットアップはお客様を閉ざされたインフラやハイパーコンバーテッド プラットフォームに閉じ込めたり、使用可能なクラウドを指定したりすることはありません。



ネットアップの進化したクラウドへの取り組み

進化したクラウドに関する詳細はこちら